



## 2018年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年4月13日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャンドウ  
 コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）城戸 一弥  
 問合せ先責任者（役職名）取締役 管理担当・人事担当（氏名）森田 徹 TEL 03-5331-5124  
 四半期報告書提出予定日 2018年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無  
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2018年11月期第1四半期の連結業績（2017年12月1日～2018年2月28日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年11月期第1四半期	17,360	1.7	594	1.7	632	0.8	353	8.4
2017年11月期第1四半期	17,075	△0.5	584	△20.7	627	△16.7	326	△11.9

（注）包括利益 2018年11月期第1四半期 366百万円（△9.9%） 2017年11月期第1四半期 407百万円（9.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年11月期第1四半期	22.21	22.16
2017年11月期第1四半期	20.49	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年11月期第1四半期	23,887	12,049	50.3
2017年11月期	24,540	11,809	48.0

（参考）自己資本 2018年11月期第1四半期 12,016百万円 2017年11月期 11,784百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年11月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2018年11月期	—	—	—	—	—
2018年11月期（予想）	—	8.50	—	8.50	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

### 3. 2018年11月期の連結業績予想（2017年12月1日～2018年11月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	36,050	4.1	1,210	5.2	1,270	0.7	670	0.6	42.10
通 期	71,400	3.7	2,270	9.5	2,380	4.7	1,030	1.9	64.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・  無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：  有・ 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・  無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 有・  無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 有・  無  
 ④ 修正再表示： 有・  無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年11月期 1 Q	16,770,200株	2017年11月期	16,770,200株
② 期末自己株式数	2018年11月期 1 Q	857,300株	2017年11月期	857,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年11月期 1 Q	15,912,900株	2017年11月期 1 Q	15,912,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

当第1四半期会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位に変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組み替えて表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2017年12月1日から2018年2月28日）におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移するとともに、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。米国政権の経済政策や不安定な国際情勢による地政学的リスクの存在など、先行きの見通しが不透明な状況が続きました。

小売業界におきましては、個人消費は緩やかに持ち直しているものの、天候不順の影響や人手不足、燃料費上昇に伴うコスト増もあり、引き続き予断を許さない経営環境で推移いたしました。

こうした経営環境のなか、当社グループは、2018年11月期からの3ヶ年について新たに定めた中期計画『Next3』を推進してまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、他社との差別化への取り組みを今まで以上に追求すべく、「選ばれる独自性の確立」を当期の年度事業方針として掲げ、店舗開発、商品、販売の全般にわたる計画の実行と企業文化の変革に取り組んでまいりました。

店舗開発戦略では、ストアデザインと施工の改良による出店投資の単価低減を推進することで、生産性の向上を図ってまいりました。また、出店の機会損失削減、店舗純増による収益拡大を図るため、差別化戦略として、直営、F C、卸取引、海外の多様な案件情報の一元管理に着手し、個別案件毎の最適な取引形態の判断と提案に努めてまいりました。

商品戦略では、当期の年度事業方針「選ばれる独自性の確立」の核となるべく、商品のオリジナリティの更なる追求を推進してまいりました。SNSを通じた情報発信、情報分析を元にした話題の商品の開発や、著名キャラクターや有名プロガーとのコラボレーション企画を行うなど、当社の強みを生かした施策や、当社プライベートブランドである「Do! STARS」商品の開発を継続して実施してまいりました。また、物流や環境問題を中心としたコスト上昇に対応するため、お取引先様と連携により商品のクオリティを維持した商品開発に努めてまいりました。

販売戦略では、店舗における4S（整理・整頓・清掃・清潔）、在庫管理の徹底によるムダ取り、商品発注から受け入れ、陳列にいたるまでの店舗内物流網構築などのインフラ整備を継続して実施し、生産性の向上を図ってまいりました。また、コンセプトを「新しい・楽しい売場」とし、当社キャラクター「はっ犬ワンドウ」の店舗への登場、参加型のイベントとして「ワークショップ」を開催、接客教育の見直しなど、ソフト面の充実を図り、当社既存店舗の魅力を引き出すための施策を行ってまいりました。更に、店舗の戦略的なリニューアルや本社主導での商品発注支援を継続実施し長期的にブランド・ロイヤリティを高める差別化戦略を推進してまいりました。

組織面では、業務執行取締役の増員により各取締役の管掌部門を明確化し、改革のための組織強化を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高173億60百万円（前年同期比101.7%）、営業利益5億94百万円（前年同期比101.7%）、経常利益6億32百万円（前年同期比100.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億53百万円（前年同期比108.4%）となりました。

新規出店実績は、12店舗（直営店8店舗、F C店3店舗、海外F C店1店舗）となり、当第1四半期連結会計期間末における店舗数は989店舗（直営店683店舗、F C店294店舗、海外F C店12店舗）となりました。

各事業の業績は、直営店売上高154億58百万円（構成比率89.1%、前年同期比102.4%）、F C店への卸売上高17億22百万円（構成比率9.9%、前年同期比95.5%）、その他売上高1億79百万円（構成比率1.0%、前年同期比104.2%）となりました。

なお、セグメントの実績については、当社グループは単一セグメントのため記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は238億87百万円であり、前連結会計年度末に比べ6億52百万円減少いたしました。その主な要因は、売掛金が1億17百万円、未収入金が2億81百万円減少したこと等が挙げられます。

#### ② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は118億38百万円であり、前連結会計年度末に比べ8億93百万円減少いたしました。その主な要因は、買掛金5億11百万円、未払法人税等が1億84百万円減少したこと等が挙げられます。

#### ③ 純資産

純資産は120億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億40百万円増加し、自己資本比率は50.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月期の業績予想につきましては、2018年1月15日に発表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,354	3,275
売掛金	482	365
商品	5,589	5,520
未収入金	1,714	1,433
その他	790	714
貸倒引当金	△16	△13
流動資産合計	11,914	11,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,210	4,220
その他(純額)	1,425	1,366
有形固定資産合計	5,636	5,587
無形固定資産		
	689	656
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,046	5,096
その他	1,294	1,292
貸倒引当金	△14	△14
投資損失引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	6,300	6,348
固定資産合計	12,625	12,592
資産合計	24,540	23,887
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,750	3,239
電子記録債務	3,793	3,764
未払法人税等	460	275
賞与引当金	—	99
資産除去債務	14	8
その他	1,514	1,238
流動負債合計	9,533	8,626
固定負債		
退職給付に係る負債	1,418	1,444
資産除去債務	1,053	1,061
負ののれん	361	352
その他	364	354
固定負債合計	3,198	3,212
負債合計	12,731	11,838

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,028	3,028
資本剰余金	3,065	3,065
利益剰余金	6,999	7,217
自己株式	△1,228	△1,228
株主資本合計	11,865	12,083
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△34	△19
為替換算調整勘定	△49	△49
退職給付に係る調整累計額	3	2
その他の包括利益累計額合計	△80	△67
新株予約権	24	33
純資産合計	11,809	12,049
負債純資産合計	24,540	23,887

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年12月1日 至 2017年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)
売上高	17,075	17,360
売上原価	10,501	10,646
売上総利益	6,573	6,714
販売費及び一般管理費	5,989	6,119
営業利益	584	594
営業外収益		
受取事務手数料	23	8
負ののれん償却額	9	9
その他	14	22
営業外収益合計	47	41
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	2	0
雑損失	1	1
その他	0	1
営業外費用合計	4	3
経常利益	627	632
特別利益		
受取補償金	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
固定資産除却損	51	22
減損損失	52	16
特別損失合計	104	39
税金等調整前四半期純利益	552	592
法人税等	226	239
四半期純利益	326	353
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	353

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年12月1日 至 2017年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)
四半期純利益	326	353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	—
繰延ヘッジ損益	65	14
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	6	—
その他の包括利益合計	81	13
四半期包括利益	407	366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	407	366
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。